科目 海洋環境

) (組:)

高等学校 令和7年度 教科 水産 科目 海教 科: 水産 科目: 海洋環境 単位数: 2 単位 対象学年組:第 2 学年 B 組 教科担当者: (組: 清水) (組: 数科报当者: (海洋環境 (海文堂) 数科 水産

教科 水産 の目標: 【知 識 及 び 技 能 】 水産や海洋の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 水産や海洋に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 職業人として必要な人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、水産業や海洋関連産業の振興や社会貢献に主体的かつ協動的に取り組む態度を養う。

科目 海洋環境 の目標:

【知識及び技能】

海洋環境について体系的・系統的に理解すると
ともに、関連する技術を身に付けるようにす
る。

海洋環境について体系的・系統的に理解すると
ともに、関連する技術を身に付けるようにす
の情理・に関わる者として合理的かつ創造的に
解決する力を養う。

第決策域に主体的かつ協働的に取り組む態度
を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	消車 海洋環境管理 「細康及び技術】 海洋や陸水における環境管理の基礎 1度考介・服所力、表現力等】 海洋や陸水における環境管理の展示 海洋や陸水における環境管理(制造的 に解決する。 【学びに向かう力、人間性等】 海洋や陸水の環境の望ましい管理や を全、調査を通したりまい社会の で発展のなれ企業や海洋関連産業の なが、持続のかの協働的に取り組 をした。	・指導事項 第1節 衛洋環境管理の概要 第1 地球環境における海洋の役割 第2 海洋環境問題の歴史 第3 海洋環境問題の歴史 第4 持続可能な水産資源利用のために ・数材 数科書、ノート、プロジェクター、 ・一人 1 台端末の活用 等	【知識・技術】 商洋や陸水における環境管理の基礎的な内容に ついて理解している。 【思考・判断・表現】 商洋や陸水における環境管理に関する課題を発 見し、合理的かの創造的に解決しようとしてい る。 【主体的に学習に取り組む極気・ 清洋や陸水の環境の望ましい管理や保全、調査 を通したよりよい社会の極くを目指して自ち学 び、持続可能で発展的な水産業や海洋関連産業 び、接続可能で発展的な水産業や海洋関連産業 いる。	0	0	0	10
	定期考査			0	0		1
		 指導事項 第2節 漁場の調査 第1 気象の観測法 第2 海洋の観測法 ・数材 教科書、ノート、プロジェクター、 ・一人 1 台端末の活用 等 	【知識・技術】 漁場環境の特性と漁業調査の基本的な内容について理解する。 【思考・判断・表現】 漁場環境と調査に関する課題を発見し、水産資 額の維持や増大を図る必要性に着目して合理的 かつ創造的に解決する。 【主体的に学習に取り組む態度】 漁場環境の調査について自ら学び、水産業や海 拝防速産業の振興に主体的かつ船働的に取り組 む。	0	0	0	12
	定期考査			0	0		1
2学期	第3章 漁場環境と調査 「知識及び技術] 漁場環境の特性と漁業調査の基本的 た内容について理解する。 「思考力、判断力、表現力等] 漁場環境と調査に関する課題を発見 し、水高資源の維持や増大を図る必 単に、著目して合理的かつ創造的に 解決する。 【学びに向かう力、人間性等】 漁場環境の調査について自ら学び、 水産業や海洋関連産業の振興に主体 りかつ船働的に取り組む。	・指導事項 第2節 漁場の調査 第3 水質の調査 第4 底質の調査 第6 生物の調査 第6 リモートセンシング技術の応 用 ・教材書、ノート、プロジェクター、 ・一人 1 台端末の活用 等	「知識・技術」 結場環境の特性と漁業調査の基本的な内容について理解する。 【思考・財産・展別・表現】 造場環境と調査に関する課題を発見し、水産資 源の維持や増大を図る必要性に着目して合理的 かつ創造的に解決・ に、学習に取り組む能能】 漁場環境の調査について自ら学び、水産業や海 洋関連産業の振興に主体的かつ協働的に取り組 む。	0	0	0	14
	【知識及び技術】 海洋や陸水における環管管理の基礎	 指導事項 第2節 海洋環境の保全 第1 海の構造 教材 教科書、ノート、プロジェクター、 一人1台端末の活用 	「知識・技術」 ・ 技術」 ・ 本学・性がにおける環境管理の基礎的な内容に ・ かいて理解している。 「思考・判断・表現」 ・ 見し、合理的かつ創造的に解決しようとしている。 ・ 「主体的に学習に取り組む態度」 ・ 海港や陸水の環境の程ましい管理や保全、調査 を通したよりよい社会の構築を目指して自ら学 び、持続可能で発展的な水産業や海洋関連産業 の振興に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	0	0	0	16
L	定期考査			0	0		1
3学期	で発展的な水産業や海洋関連産業の振興に主体的かつ協働的に取り組む。	・指導事項 第2節 海洋と環境保全 第3節 陸水環境の保全 第1 陸水の構造 第2 陸水と環境保全 ・教材 教科書、ノート、プロジェクター、 ・一人 1 台端末の活用 等	「知識・技術」 高準や陸水における環境管理の基礎的な内容に ついて理解している。 【思考・判断・表現】 高洋や陸水における環境管理に関する課題を発 見し、合理的かつ制造的に解決しようとしてい る。 【主体的に学習に取り組む態度】 高洋や陸水の環境の望ましい管理や保全、調査 を通したよりよい社会の構象を目指して自ら学 で、持続可能で発展的な水産業や治洋関連を の振興に主体的かつ協働的に取り組もうとして いる。	0	0	0	14
	定期考査			0	0		1
							合計 70
L	<u> </u>	l	l .				10